

提供年月日：令和6年（2024年）3月4日  
所属名：滋賀県立美術館  
担当者名：小松  
連絡先：077-543-2113  
E-mail：museum@pref.shiga.lg.jp

## 個人から13件（評価額：総額約6千万円）を受贈 三日月知事が感謝状を贈呈します！

このたび、株式会社バッファロー代表取締役社長の牧 寛之氏から、7作家13件（評価額：総額約6千万円）の寄贈を受けましたので、下記のとおり感謝状贈呈式を開催します。

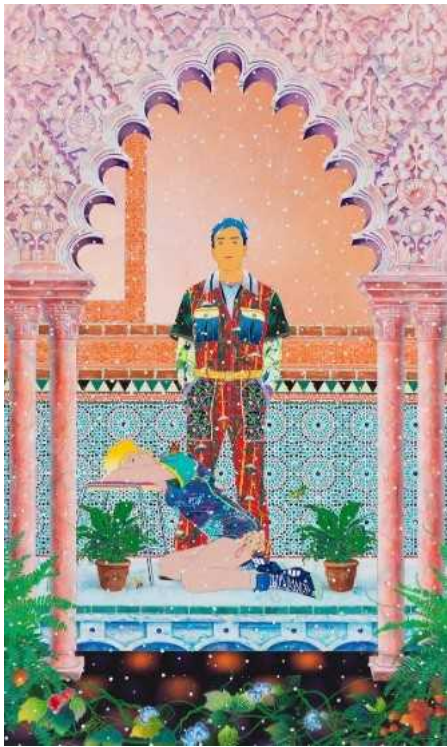
### 感謝状贈呈式の概要

- 日時：令和6年（2024年）3月14日（木）11時から
- 場所：滋賀県庁 知事公館
- 出席者：株式会社バッファロー 代表取締役社長 牧 寛之<sup>まき ひろゆき</sup>  
滋賀県知事 三日月 大造  
滋賀県立美術館 館長（ディレクター） 保坂 健二郎

### 寄贈作品・作家の紹介

No.	作者	作品名	制作年
1	Alexa Kumiko Hatanaka 1988-	Yoshitaka Boiler Suit	2021
2	(アレクサ・クミコ・ハタナカ)	The Tabi	2022
3		Untitled Noren	2022
4	Devan Shimoyama 1989-	Anthony Doubled	2022
5	(デヴァン・シモヤマ)	From the Knight	2022
6		Self Portrait as Patti	2022
7	笹岡 由梨子 1988- (滋賀県拠点) <sup>ささおか ゆりこ</sup>	Planaria	2021
8	大和 美緒 1990- (滋賀県出身) <sup>やまと みお</sup>	RED DOT 69	2023
9	木津本 麗 1998- (滋賀県出身) <sup>きづもと れい</sup>	星が光るとき #3	2023
10		星が光るとき #6	2023
11		星が光るとき #7	2023
12	松山 智一 1976- <sup>まつやま ともかず</sup>	The More I See You, Joy is Sorrow Unmasked	2023
13	森本 啓太 1990- <sup>もりもと けいた</sup>	Pink Sky	2022

※No. 1, 2, 3 は立体作品。No. 7 は映像作品。それ以外は平面作品。



松山 智一  
《The More I See You, Joy is Sorrow Unmasked》 2023



笹岡 由梨子《Planaria》 2021



木津本 麗《星が光るとき #3》 2023

## 寄贈者（牧 寛之氏）の紹介

昭和 55 年（1980 年）11 月 15 日生まれ。愛知県出身。平成 15 年（2003 年）京都大学経済学部卒。平成 26 年（2014 年）に株式会社メルコホールディングス※（東証上場）の代表取締役社長に就任（現職）。平成 30 年（2018 年）に創業者である父・牧誠氏の逝去に伴い、株式会社バッファローの代表取締役社長に就任（現職）。

※東京都と愛知県（名古屋）に本社を置く企業グループの純粋持株会社。グループ企業はパソコン周辺機器の開発等を行っている株式会社バッファローや麺類の製造等を行っているシマダヤ株式会社をはじめ 22 社で構成される。株式会社バッファローはその中核企業。

## 寄贈の背景・経緯

- 寄贈者の牧 寛之氏は、株式会社バッファローの創業 50 周年と同社創業者・牧 誠氏の 7 回忌を前に、国内の文化芸術活動に貢献をしたいと考えられ、文化芸術関係者と接触する中で、多くの公立美術館が限られた購入予算しか持たないなど、日本の美術館界の構造的問題を知るに至りました。
- 牧 寛之氏は、私財を投じて、芸術作品を購入し美術館に寄贈することを、今回の貢献活動の主軸のひとつに定められました。
- 令和 5 年（2023 年）に、牧 寛之氏から当館の保坂ディレクターに寄贈に向けた相談がありました。その後、寄贈作品の選定等の対話を経て、今回 13 件の寄贈を受けることになりました。
- 牧 寛之氏による日本の国公立美術館への寄贈は、近畿地方では当館が初めてとなります（受贈日：令和 5 年（2023 年）12 月 20 日）。

## 当館のコレクションにおける寄贈作品の意義

- 当館では、昭和 59 年（1984 年）の開館以来、作品収集方針の柱の一つに「戦後のアメリカと日本を中心とする現代美術」を掲げています。しかし、購入予算等の兼ね合いから、近年は当該分野のうち特にアメリカについては、コレクションを拡充できていない状況にあります。
- 現在、世界中の美術館が、これまでのコレクションの偏りを是正するべく、女性のアーティスト、アフリカ系アメリカ人のアーティスト、LGBTQ+のアーティストの作品の収集に努めています。今回の寄贈作品もまた、当館のコレクションを今日的な視点でアップデートするものです。
- 当館が現在所有するアメリカの戦後の美術のコレクションは、アンディ・ウォーホルやマーク・ロスコなど、白人男性のアーティストかつ戦後の 1950-70 年代が大半を占めています。そうした中で、今回、移民のルーツをもつアレクサ・クミコ・ハタナカ（日系カナダ人・4 世）、デヴォン・シモヤマ（アフリカ系アメリカ人、クィア）は、当館が令和 3 年（2021 年）に作品収集方針の柱の一つに加えた「芸術文化の多様性を確認できるような作品」に合致し、コレクションに新たな観点を与えてくれます。
- 笹岡 由梨子、大和 美緒、木津本 麗は、滋賀出身もしくは滋賀を拠点に活動している女性のアーティストです。こうしたキャリアのまだ長くないアーティストにとってほとんどはじめてのパブリックコレクションとなることで間接的な支援をしていくことは、アートを通じた好循環（作家支援と美術館の活性化）を生み出すことにもつながります。これは、今後の公立美術館に求められる役割であると考えています。
- 松山 智一はニューヨークを拠点、森本 啓太は東京とカナダを拠点というように、彼らは世界を舞台に活躍している日本人アーティストです。グローバル化が進んだ現代において、松山や森本のようなアーティストの作品は、文化交流の表象の一つの事例として、アートの動向全体を捉え、紹介するためにも重要であると考えています。

## 展示の予定

令和 6 年（2024 年）12 月 10 日（火）から令和 7 年（2025 年）3 月 23 日（日）のコレクション展（常設展）で展示予定。